

今週（11月25日から11月28日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドのニーズが堅調に見られたことから、出合いレートに大きな変動はなく、概ね横ばい圏での推移となった。加重平均レートについては、25日(火)と26日(水)が0.478%となったが、27日(木)は0.477%となり、28日(金)も概ね同水準での取引が中心となった。

ターム物に関しては、1～2W程度のショートターム物で0.48～0.55%近辺での出合いが散見された。2～3M物については、12月の金融政策決定会合での利上げ警戒感が高まっていることから、オファーとビッドのレート目線に乖離が出始めている。

日銀当座預金残高は、週初490兆円弱から始まったが、その後は財政資金の揚げや国債発行により緩やかな減少傾向となった結果、488兆円程度での着地見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、0.495～0.505%近辺で推移した。

SCは、カレント銘柄近辺や、チーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。

28日(金)に実施された3M物入札はテールが流れる結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも弱含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、月末週にあたり複数の業態で大型発行が見られた。

市場残高は、11/12(水)以降、前日比で増加が続くなか、26日(水)には9/9(火)以来となる25兆円台を回復する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきがみられた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り (%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
11/24 (月)						
11/25 (火)	48,659.52	1.800	156.83	0.478	0.502	4,895,000
11/26 (水)	49,559.07	1.815	156.35	0.478	0.502	4,883,500
11/27 (木)	50,167.10	1.795	155.87	0.477	0.495	4,877,400
11/28 (金)	50,253.91	1.800	156.25	0.477	0.500	4,870,500

来週（12月1日から12月5日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
12/1 (月)	植田日銀総裁 名古屋での経済界代表者との懇談における挨拶 7-9月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50)			11月のISM製造業景況指数
12/2 (火)	11月のマネタリーベース(日銀 8:50) 11月の消費動向調査(内閣府 14:00) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)	10Y 12/3発行 26,000億円		11月のユーロ圏消費者物価指数速報値
12/3 (水)	12月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50)			11月のISM非製造業景況指数 9月の米鉱工業生産
12/4 (木)		30Y 12/5発行 7,000億円	交付税借入 12/12借入 13,000億円	
12/5 (金)	10月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 11月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 10月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)	TDB 3M 12/8発行 43,000億円		9月の米個人所得・消費(PCE) 10月の米消費者信用残高 12月のミシガン大消費者信頼感指数速報 7-9月期のユーロ圏GDP確報値

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
12/1 (月) 日銀予想	▲ 500	▲ 33,400	▲ 33,900	社債買入 国債補完 成長基盤	▲ 100 1,300 ▲ 2,400		▲ 1,200	▲ 35,100	財政融資資金回収 TDB3M発行▲43,000償還43,000 2Y発行▲27,000償還17,300
12/2 (火) 弊社予想	▲ 800	▲ 20,000	▲ 20,800				0	▲ 20,800	
12/3 (水) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 85,000	▲ 86,000				0	▲ 86,000	法人税・消費税揚げ 年金保険料揚げ 10Y発行▲26,000
12/4 (木) 弊社予想	▲ 1,000	2,000	1,000				0	1,000	交付税借入▲11,000期日13,000
12/5 (金) 弊社予想	▲ 1,500	▲ 7,000	▲ 8,500				0	▲ 8,500	30Y発行▲7,000
週間合計	▲ 4,800	▲ 143,400	▲ 148,200	—	▲ 1,200	0	▲ 1,200	▲ 149,400	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれることから、レートは0.477%近辺での推移が予想される。債券レボ GC T/N物は、0.50%前後での推移が予想される。短国市場は、5日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場では、例年資金調達ニーズが高まりやすい時期となることから、発行がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では、1日(月)に植田日銀総裁 名古屋での経済界代表者との懇談における挨拶、7-9月期の法人企業統計調査季報、海外では、1日(月)に11月のISM製造業景況指数、2日(火)に11月のユーロ圏消費者物価指数速報値、3日(水)に11月のISM非製造業景況指数、5日(金)に9月の米個人所得・消費(PCE)、7-9月期のユーロ圏GDP確報値などの公表が予定されている。（※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。